

地質の日を記念して ～オシ沼切通し多摩ローム層模式露頭剥ぎ取り標本～ を公開します！

5月10日の地質の日^{※1}を記念して、昨年度、川崎市地域文化財に決定された「オシ沼切通し多摩ローム層模式露頭剥ぎ取り標本」の7点のうち1点を、5月19日に限定公開します。

この露頭^{※2}は川崎市多摩区東生田3丁目にかつて存在したもので、多摩ローム層（約13万～29万年前）及びオシ沼砂礫層（約30万年前）の模式地^{※3}とされ、多くの研究者にとって関東ローム層研究の重要地点となっていました。露頭は平成3（1991）年の宅地造成によって消失しましたが、青少年科学館に剥ぎ取り標本^{※4}として保存されていることで、現在の私たちも失われた露頭の実物から、大地の変動を感じることができます。

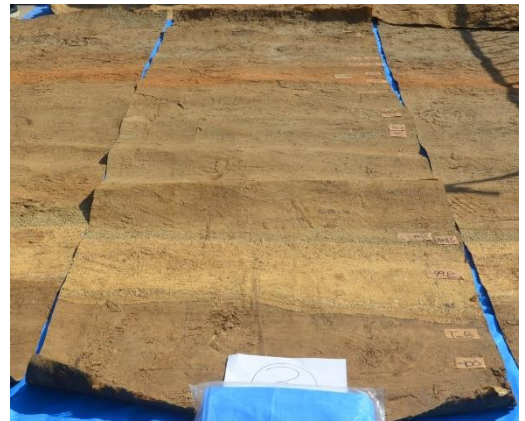
※1 地質の日は1876年にアメリカの地質家ライマンらによって日本初の広域的な地質図「日本蝦夷地質要略之図」が作られた日で、日本地質学会などで構成される「地質の日」推進委員会によって定められました。

※2 露頭とは、地層が見える崖などをいいます。

※3 模式地とは、ある固有の名称で呼ばれる地層が分布する代表的な地点のことです。

※4 剥ぎ取り標本とは、露頭に接着剤を塗り、布やガラス繊維を貼付け、露頭表面を剥ぎ取った実物資料です。

- 1 開催日時 令和6年5月19日（日）
14時00分～16時00分
- 2 場 所 かわさき^{そら}宙と緑の科学館2階学習室1
- 3 観 覧 料 無料



「オシ沼切通しの露頭」の剥ぎ取り標本



約22万～25万年前に、箱根火山が何度も大きな噴火をしたときの火山灰を、実際に見ることができるよ。

問合せ先

〈剥ぎ取り標本に関すること〉

川崎市教育委員会青少年科学館 久保

電話 044-922-4731

〈川崎市地域文化財に関すること〉

川崎市教育委員会事務局生涯学習部文化財課 竹下

電話 044-200-3315